

公開シンポジウム

人間にとって学習とは何か？

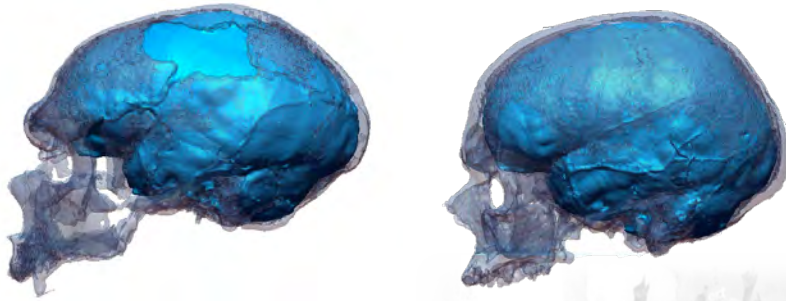
人はなぜ学び続けるのか？ なぜ「勉強したくない」と思ってしまうのか？
学習と教育の重要性が高まる今、人類学の多様な視点からその本質を問う

2025年3月20日（木・祝）13:00～16:30

参加方法 ①対面：東京大学理学部2号館講堂（東京都文京区）
②オンライン

参加無料・要事前登録

どなたでもご参加いただけます
参加登録はこちら(3/16まで) →



話題提供 【人間にとって学習とは何か？】

霊長類学の視点から
行動進化の視点から
化石形態学の視点から
成長学の視点から
文化・歴史的発達の視点から
人類史の視点から

香田 啓貴(東京大学)
井原 泰雄(東京大学)
荻原 直道(東京大学)
山内 太郎(北海道大学)
高田 明(京都大学)
松本 直子(岡山大学)

総合討論 【教育現場との交差：「勉強したくない」という気持ちの謎】

教育現場より
総合討論

西田 淳(奈良女子大学附属小学校)



主 催：日本学術会議統合生物学委員会・基礎生物学委員会合同自然人類学分科会
後 援：日本人類学会、日本霊長類学会、日本文化人類学会、日本人間行動進化学会
日本日本生理人類学会、日本成長学会
連絡先：gakushusympo2025@gmail.com

人はなぜ学び続けるのでしょうか？ 学習と教育の重要性が高まる今、人類学の多様な視点からその本質を問うために、本シンポジウムを企画しました。

成長期のみならず人生を通じた個人の学習、そしてそれを支える体系化された社会の教育システムは、現代の常識となっています。しかし過去を振り返ればその起源は意外に浅く、世界を見渡せばそのあり方も実に多様であることがわかります。それでは、私たちはなぜ、どのように「多くを学び続ける存在」になったのでしょうか？ この大きな疑問に迫るため、6人の専門家がそれぞれの視点で語ります。さらにそこから学校教育現場へどのような示唆が得られるのかを、討論します。

プログラム

13:00 開会挨拶

村山 美穂（京都大学野生動物研究センター）

13:10 話題提供「人間にとって学習とは何か？」

司会 松本 晶子（琉球大学国際地域創造学部）

- ① 霊長類学の視点から：同調・伝染から模倣・協力へ至る社会学習の生物学的基盤
香田 啓貴（東京大学大学院総合文化研究科）
- ② 行動進化の視点から：社会学習の起源と帰結
井原 泰雄（東京大学大学院理学系研究科）
- ③ 形態学の視点から：ヒトの脳化と学習の起源と進化
荻原 直道（東京大学大学院理学系研究科）
- ④ 成長学の視点から：カラダ・アタマ・ココロのせめぎあい
山内 太郎（北海道大学大学院保健科学研究院）
- ⑤ 文化・歴史的発達の視点から：遊び、学習、労働をつなぐ社会的基盤
高田 明（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科）
- ⑥ 人類史の視点から：文明と学習
松本 直子（岡山大学文明動態学研究所）

15:30 総合討論「教育現場との交差」：「勉強したくない」という気持ちの謎

司会 海部 陽介（東京大学総合研究博物館）

- ⑦ 教育現場より：自律的に学ぶ子どもを育てる～自分らしい学びの創造～
西田 淳（奈良女子大学附属小学校副校長）

16:25 閉会挨拶

宮路 淳子（奈良女子大学大学院人文科学系）